

3項目の目標で工業会活性化図る

今年4月23日に開催された平成27年度定期総会において、日本ゴム精練工業会の新会長に就任した野田明志ノブ会長が、会長就任の抱負やゴム精練業

インタビュー



日本ゴム精練工業会 野田明志会長

「会長就任に当たり目標として3項目を掲げ、理事会や定期総会において会員の皆さんにもご協力をお願いした。掲げた目標は①ゴム産業界において存在感のある工業会にする②会員企業に対してより一層魅力のある工業会にする③需要先から

「会長就任に当たり目標として3項目を掲げ、理事会や定期総会において会員の皆さんにもご協力をお願いした。掲げた目標は①ゴム産業界において存在感のある工業会にする②会員企業に対してより一層魅力のある工業会にする③需要先から

社員対象研修会を初めて実施

より一層信頼される工業会及び業界にする①の3項目となっている。まず①に関しては、工業会として拡大

想としては、発足時の規模前後まで増やしたいと考えている。国内にはゴム精練関連企業は、まだまだ数多く存在すると思っている。これら各社に、加盟の勧誘を積極的に行って

業会のホームページを、ポスティコーポレーション（ゴム報知新聞）の協力を得て新設する。また②に関しては、工業会に加盟していただくの様なメリットや

経営幹部を対象に勉強会を開催したことはあるが、一般社員対象の研修会は工業会設立以来初の試みとなると思う。この研修会の第1回目として6月12日に東京駅八重洲口の会議

講演の後には仕事上の悩みや問題点、成功例などを情報交換する会員交流会や懇親会も予定しており、今後の精練に関する業務や工業会活動を、より有意義なものにしてもらいたいと思っている。

さらに③に関して は、ゴム精練技術はゴム配合技術と共にゴム製品の特性を引出す重要な工程であり、特にCMB配合においては精練技術が品質を左右

するコアテクノロジードと云って過言ではない。我々としても、重要な工程を担いゴム産業界に貢献していると認識を改めて持ち、ゴム配合やゴム精練の専門集団として技術開発力をより一層高め、顧客から益々信頼を得られるような工業会や業界にしていきたい。信頼をより高めるには、顧客の要求品質に的確に合致したゴム材料を、納期を厳守して作り込むことが最も重要な課題で、これが業界の地位向上にも繋がる。さらにこの生産過程において、近年関心が高まっている環境汚染を未然に防止する

ことも大切だ」
——ゴム精練業界の現状については。
「国内のゴム精練需要に関しては、需要先の海外進出の加速と、現地での調達比率の高まりにより、残念ながら年々減少傾向にある。日本ゴム精練工業会の加盟企業総出荷量の推移では、工業会設立当初は30社で約23万トンだったが現在は24社で約11・5万トンとなっている。企業数に差異があるので単純比較はできないものの、25年間で35〜40%前後減少したことになる。今後に関しても、特に国内精練需要は残念ながら減少傾向にあると思われ、11万トン台

魅力があるかが重要な要素だと認識している。魅力を高める一環として、会員企業の社員を対象とした研修会を今年度は複数回実施する予定だ。今までは第1回目ということ

で工業会のあり方を討議し、各社の意見を集約してプレスを含めたゴム産業界に対して価値ある情報を発信していきたい。そのための一つのツールとして工

室において竹下道孝氏（竹下共創技術士事務所代表）を講師に、「天然ゴム・合成ゴムのお話」という演題で講演会を実施する。今回は

「国内のゴム精練需要に関しては、需要先の海外進出の加速と、現地での調達比率の高まりにより、残念ながら年々減少傾向にある。日本ゴム精練工業会の加盟企業総出荷量の推移では、工業会設立当初は30社で約23万トンだったが現在は24社で約11・5万トンとなっている。企業数に差異があるので単純比較はできないものの、25年間で35〜40%前後減少したことになる。今後に関しても、特に国内精練需要は残念ながら減少傾向にあると思われ、11万トン台

この様な現状を受け、日本ゴム精練工業会としては、会員企業は切磋琢磨しながらも共存共栄の認識を持ち、厳しい需要環境に立ち向かわなければならぬと考えている。設立してから25年の間、リーマン・ショックなど何度も危機的状況はあったが、幸いなことに会員企業の倒産は一つも無く乗り越えてきた。これからも工業会としては、会員企業が健全な企業運営を行っていきけるように様々な側面からバックアップしていく方針でいる」

この様な現状を受け、日本ゴム精練工業会としては、会員企業は切磋琢磨しながらも共存共栄の認識を持ち、厳しい需要環境に立ち向かわなければならぬと考えている。設立してから25年の間、リーマン・ショックなど何度も危機的状況はあったが、幸いなことに会員企業の倒産は一つも無く乗り越えてきた。これからも工業会としては、会員企業が健全な企業運営を行っていきけるように様々な側面からバックアップしていく方針でいる」

この様な現状を受け、日本ゴム精練工業会としては、会員企業は切磋琢磨しながらも共存共栄の認識を持ち、厳しい需要環境に立ち向かわなければならぬと考えている。設立してから25年の間、リーマン・ショックなど何度も危機的状況はあったが、幸いなことに会員企業の倒産は一つも無く乗り越えてきた。これからも工業会としては、会員企業が健全な企業運営を行っていきけるように様々な側面からバックアップしていく方針でいる」

この様な現状を受け、日本ゴム精練工業会としては、会員企業は切磋琢磨しながらも共存共栄の認識を持ち、厳しい需要環境に立ち向かわなければならぬと考えている。設立してから25年の間、リーマン・ショックなど何度も危機的状況はあったが、幸いなことに会員企業の倒産は一つも無く乗り越えてきた。これからも工業会としては、会員企業が健全な企業運営を行っていきけるように様々な側面からバックアップしていく方針でいる」

「会長就任に当たり目標として3項目を掲げ、理事会や定期総会において会員の皆さんにもご協力をお願いした。掲げた目標は①ゴム産業界において存在感のある工業会にする②会員企業に対してより一層魅力のある工業会にする③需要先から

「会長就任に当たり目標として3項目を掲げ、理事会や定期総会において会員の皆さんにもご協力をお願いした。掲げた目標は①ゴム産業界において存在感のある工業会にする②会員企業に対してより一層魅力のある工業会にする③需要先から

「会長就任に当たり目標として3項目を掲げ、理事会や定期総会において会員の皆さんにもご協力をお願いした。掲げた目標は①ゴム産業界において存在感のある工業会にする②会員企業に対してより一層魅力のある工業会にする③需要先から

「会長就任に当たり目標として3項目を掲げ、理事会や定期総会において会員の皆さんにもご協力をお願いした。掲げた目標は①ゴム産業界において存在感のある工業会にする②会員企業に対してより一層魅力のある工業会にする③需要先から

「会長就任に当たり目標として3項目を掲げ、理事会や定期総会において会員の皆さんにもご協力をお願いした。掲げた目標は①ゴム産業界において存在感のある工業会にする②会員企業に対してより一層魅力のある工業会にする③需要先から

「会長就任に当たり目標として3項目を掲げ、理事会や定期総会において会員の皆さんにもご協力をお願いした。掲げた目標は①ゴム産業界において存在感のある工業会にする②会員企業に対してより一層魅力のある工業会にする③需要先から

「会長就任に当たり目標として3項目を掲げ、理事会や定期総会において会員の皆さんにもご協力をお願いした。掲げた目標は①ゴム産業界において存在感のある工業会にする②会員企業に対してより一層魅力のある工業会にする③需要先から

「会長就任に当たり目標として3項目を掲げ、理事会や定期総会において会員の皆さんにもご協力をお願いした。掲げた目標は①ゴム産業界において存在感のある工業会にする②会員企業に対してより一層魅力のある工業会にする③需要先から